

【提供：Bit-One】



令和7年度 「ピースキャンドルナイト・はだの平和の日のつどい」 開催結果

【提供：Bit-One】



令和7年8月16日（土）午後4時～7時45分
メタックス体育館はだの（総合体育館）

- ①はだの平和の日のつどい：サブアリーナ
- ②ピースキャンドルナイト：けやき広場

主催：秦野市／主管：ピースキャンドルナイト実行委員会

～ 平和の灯を未来にともす～

秦野市では、市民一人ひとりが平和や命の大切さを改めて考え語り合う機会として、平成20年に、毎年8月15日を『秦野市平和の日』と制定しました。この趣旨を広めるため、平和の日を中心に毎年様々な『平和の日事業』を行っておりますが、今回は8月16日（土）に開催しました。

「平和の日事業」の一つである、市民手作りのキャンドルに平和の灯をともし『ピースキャンドルナイト』は、メタックス体育館はだの（総合体育館）けやき広場を会場に、ピースキャンドルナイト実行委員会やイベントサポーターの協力のもと、開催しました。

キャンドルの種火には被爆地・広島から持ち帰った『平和の灯』を使用し、平和な未来への希望を込めて約3,500個のキャンドルに灯をともしました。

また、「はだの平和の日のつどい」では、サブアリーナを会場に、戦後80年となる今年、戦争の記憶を次世代に継承するための企画として、被爆体験講話を行いました。また、29回目の実施となった『親子ひろしま訪問団』が活動報告を行うとともに、公募出演者によるコンサートを行い、それぞれの平和への思いを胸に、美しい演奏が披露されました。



集まったキャンドルは、約3,500個

子供からお年寄りまで多くの皆さんが、ペットボトルを再利用して作るキャンドルの作製に協力してくれました。当日会場に持参された分も含め、約3,500個の手作りキャンドルが集まりました。



運営を支えたのは、約120名のイベントサポーター

幅広い年齢層の人がボランティアとして参加し、キャンドルの設置から片付けまで、暑さをものともせずイベントを支えました。



来場者は、約1,000名

当日は、天候にも恵まれ、親子連れなど約1,000名が来場し、キャンドルの点火や片付けなど多くの人がイベントに参加・協力しました。そして、揺らめくキャンドルの光の中で、平和に思いをはせました。



回収したペットボトルキャップは、ワクチン購入費用に活用

キャンドルの作製と併せてお願いしたペットボトルキャップの募集では、約400kgのキャップが集まりました。回収したキャップは、リサイクル業者を通じて発展途上国の子供たちのワクチン購入費用として活用されます。



竹灯籠の設置

市内の竹林整備を行う団体が作成した約500個の竹灯籠の設置や、竹で作成したアート展示を行いました。



「平和の日常」カメラスケッチ

13:30

イベントサポーター集合・キャンドル、竹灯篋設置

会場となるメタックス体育館はだの（総合体育館）に、イベントサポーターが集合。キャンドル、竹灯篋設置についての説明を受けたあと、設置作業に取り掛かりました。



レイアウト図に沿ってキャンドル、竹灯篋を設置



「平和」をイメージして、様々な形に並べられたキャンドル

～キャンドル作製に協力いただいた皆さん～

- ◆保 育 園 あおば・こひつじ・西湘秦野・第2にこにこ・第一・なでしこ第2・なでしこにこにこ・虹と風・いまいずみ・ひまわり・ベル・フラワー・みどり・山辺若木
- ◆こども園 すえひろ・つるまき・ひろはた・しぶさわ・みどり・サンキッズ南が丘・白百合・ペコちゃんこども園ほりかわ
- ◆幼 稚 園 本町・南・東・北・西・上・つるまき・西秦野
- ◆小 学 校 南・東・大根・西・上・広畑・渋沢・鶴巻・末広・南が丘・堀川
- ◆中 学 校 本町・東・北・大根・西・南が丘・渋沢・鶴巻
- ◆特別支援学校 県立秦野支援学校
- ◆そ の 他 介護老人保健施設めぐみの里・ひまわりの里
会場や公民館に持参した多くの市民の皆さん

～竹灯篋・竹アート作製に協力いただいた皆さん～

- ◆BAMBOO PROJECT JAPAN ◆NPO 法人四十八瀬川自然村 ◆NPO 法人自然塾丹沢ドン会
- ◆向山林道三ツ又の会 ◆湘南竹の会 ◆あぶらびと

【第1部】 16:00

【第2部】 17:00

【第3部】 18:30

はだの平和の日のつどい

第1部として、サブアリーナを会場に、原爆被災者の方を講師にお招きし、「戦後80年被爆体験講話」を行いました。

第2部として、8月6日「広島原爆の日」に合わせ被爆地広島を訪問した「親子ひろしま訪問団」が、訪問の活動報告と質疑応答を行いました。

第3部として、サブアリーナを会場に2組の公募出演者によるコンサートを開催しました。



細越委員長による開会挨拶



戦後80年被爆体験講話



親子ひろしま訪問団 活動報告の様子



最後に全員で記念撮影



Peaceday コンサート ラ・クラベリーナ



Peaceday コンサート ともしび合奏団

18:00

ピースキャンドルナイト開会

けやき広場中央には、BAMBOO PROJECT JAPAN 制作の竹製オブジェが置かれました。

オブジェ中央に設置したメインキャンドルに、今年度の「親子ひろしま訪問団」の団長親子が「平和の灯」を点火しました。

高橋委員の司会で点灯式が開会し、高橋昌和秦野市長の挨拶の後、本町幼稚園、南幼稚園、東幼稚園、北幼稚園、西幼稚園の皆さんが手話コーラスを披露しました（曲：「With You ありがとう」）。

続いて、高橋市長と細越委員長がメインキャンドルから「平和の灯」を採火し、周囲に設置されたサブキャンドルに火をともしました。

その後、サブキャンドルの火を使って、イベントサポーターや来場者が会場内に並べられた約 3,500 個のピースキャンドルに火をともしました。



「親子ひろしま訪問団」団長親子がメインキャンドルに点火



挨拶する高橋市長



本町幼稚園、南幼稚園、東幼稚園、北幼稚園、西幼稚園による手話コーラス



メインキャンドルから採火した火を
サブキャンドルに点火



イベントサポーターや来場者も点火に参加



◆平和の灯モニュメント

秦野市では、平成21年8月11日に平和の象徴として、市役所本庁舎の正面玄関横に「平和の灯モニュメント」を設置しました。モニュメントがともし続けている火は、被爆地・広島を訪れた「親子ひろしま訪問団」が広島平和記念公園の平和の灯を採火し、持ち帰ったものです。

この火は、「ピースキャンドルナイト」をはじめ、様々な平和推進事業で種火として活用されています。



19:45

ピースキャンドルナイト閉会

はだの平和の日のつどいが閉会し、コンサートの美しい調べの余韻に浸る中、閉会の時間が近づきました。サポーター、来場者が協力してキャンドルの片付けを行い、第18回ピースキャンドルナイトは閉会しました。



photo gallery



山形県の絵ろうそくも会場を演出



◆問い合わせ◆

ピースキャンドルナイト実行委員会事務局（文化スポーツ部文化振興課内）

電話 0463-86-6309 ファクス 0463-86-6563

メールアドレス bunsin@city.hadano.kanagawa.jp